

ウラジロミドリシジミ

兵庫県：要注目

Favonius saphirinus saphirinus

環境省：

種の概要

前翅長14～20mm程度。翅の表面は♂では金属光沢をもった青緑色、♀では黒褐色で、かすかに黄白色斑を持つことが多い。裏面は銀白色で、中央部には褐色条がある。後翅には尾状突起を備える。低山地の落葉広葉樹林に生息し、幼虫はナラガシワ、カシワを食べる。年1化性で、成虫は6月～7月に出現する。



写真提供：刈田悟史

国内分布

北海道、本州、四国、九州、隠岐。対馬

県内分布記録

川西市、猪名川町、多可町、姫路市、相生市、たつの市、宍粟市、上郡町、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、篠山市、淡路市



選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○				

特記事項

新規追加種

ナラガシワが混交する林床の明るい二次林が生息地であるが、常緑樹の成長や植林などで生息環境が狭められた。

保護上の留意点